

阿倍野・聖天山で観察された生き物の記録 コースNo.17

協 力：地球館パートナーシップクラブ

種名とともに、状態を表す記号を付記した。
1: 葉、卵 2: 花、幼虫、幼鳥 3: 果実、蛹 4: 実生、成虫、成鳥 0: その他 植：植栽
※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。
植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。
※2 分の 1 地域メッシュコード（総務省）で分割し、そのコード番号の下に記載した No.
は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域 500m メッシュナンバーである。

日 時:2018 年 1 月 21 日 10:10~15:00 天候：晴れ
調査者：北川ちえこ、忍喜博、中谷憲一、林耕太、栴元慶子、松川欣二
一般参加者 :5 名（※飛び入り参加・大人 1、子供 2） 事務局：岩崎江利子
場 所：エリア・マップ No.2~5

ほぼ全域で見られた野草：ウラジロチチコグサ、オニタビラコ、オランダミミナグサ、カラスノエンドウ、コセンダングサ、ノゲシ、ホトケノザ、ムラサキカタバミ

コメント：今回の調査でもタマムシ発見。飛び入りのこども達が虫好きで、カマキリやイラガの繭など殻を見つけてくれて、そんな出会いが調査を楽しくしました。寺社には意外に虫のあとが多いのかもしれませんが、古い土地柄が良かったのかもしれませんが、建物の壁も、しっかり見る必要があると思いました。

